

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）

分担研究報告書

アジソン病に関する研究

研究分担者 栗原勲 慶應義塾大学 医学部・非常勤講師

研究分担者 田邊真紀人 福岡徳洲会病院 心療内科・内分泌・糖尿病内科・部長

研究分担者 西山充 高知大学 教育研究部医療学系臨床医学部門・教授

研究要旨

アジソン病を代表疾患とする成人発症の原発性副腎皮質機能低下症を対象として、全国調査を行い、その中で採取・収集された患者血液検体を用いて、抗体検査および遺伝学的検査を実施する。さらにアジソン病の診断基準・重症度分類の改訂案を作成する。

A. 研究目的

アジソン病（原発性副腎皮質機能低下症）は、副腎から分泌される主要なホルモンであるコルチゾールの分泌不全に伴い、全身倦怠感や食思不振など多様な臨床症状を呈する疾患である。抗副腎抗体による自己免疫的機序で副腎が破壊される病態が知られているが、抗副腎抗体陰性のアジソン病も確認されており、その病因については未解明な点が多い。

本研究では、成人におけるアジソン病の全国調査を行い、先天性副腎皮質機能低下症の原因として報告されている既知の遺伝子異常について、その成因への関与を評価することを目的とする。

B. 研究方法

全国の内分泌診療を専門とする施設を対象として、アンケートによる一次調査を行う。さらに同意が得られた場合は、血液サン

プルの採取を行う。血液サンプルは、抗副腎抗体の測定と遺伝学的検査に使用する。

（倫理面への配慮）

慶應義塾大学医学部倫理委員会の審査を受け、研究協力者の権利・負担に配慮した適切な運用を行う。

C. 研究結果

「成人発症の原発性副腎皮質機能低下症（アジソン病）における先天性原発性副腎皮質機能低下症の責任遺伝子解析と自己抗体測定：全国規模の疫学調査」を慶應義塾大学医学部倫理委員会に申請し、承認プロセスを得ていたが、学内倫理規定の改訂に伴い再申請が必要となり、再度の倫理申請を行っている。

D. 考察

成人におけるアジソン病の病因に対する

遺伝子異常の関与が示されると期待される。

2. 学会発表

なし

E. 結論

アジソン病における、抗体検査および遺伝学的検査を実施する。

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

F. 健康危険情報

なし。

2. 実用新案登録

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

3. その他

なし